

# 図書館かわら版

冬の巻



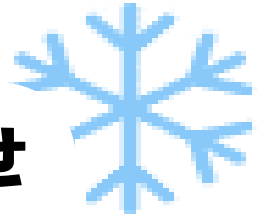
**今年も残り少なくなりました！**

今年の残すところ1カ月。来年は平成が終わり、新しい時代が幕をあけます。

冬休みも読書を楽しんでください。



## 冬休み長期貸し出しのお知らせ



期間：12月10日（月）～12月21日（金）

冊数：5冊まで

返却期限：2019年1月16日（水）まで

借りている本は12月7日（金）までに一度返却してください。延滞本がある人は長期貸出ができませんので、注意してくださいね。

ただいま展示中！

## 日本の伝統を感じよう

お正月は1年で一番、日本の伝統を感じる季節です。図書館では伝統や文化を感じられる本を展示しています。楽しく読んで文化に触れる小説も紹介しています。長い歴史に育まれた文化を楽しんでください。



「仏果を得ず」三浦しをん作（文楽を扱った作品）

「しゃべどもしゃべれども」佐藤多佳子作（落語を扱った作品）

「車夫」いとうみく作（人力車を扱った作品）

# 冬休み

に読んでほしい!  
おすすめの本



「長い冬休み」上、下  
アーサー・ランサム作 神宮輝夫訳

4人の兄弟が小さな帆船のツバメ号に乗り、冒険を繰り広げるランサム・サーガの4作目です。今回は北極を目指しての冒険を計画します。こんな冒険は無理じゃないか?と思ったりしない、少し(大分?)無鉄砲な子どもたちの前向きな明るい力と

「はかりきれない世界の単位」  
米澤敬著 日下明イラスト

2019年5月20日に、130年にわたって質量のとしてあった「国際キログラム原器」がその役目を終えます。キログラムの新しい定義が誕生しますね。この本に紹介されている単位は日常生活ではあまり使われないものたちです。クスッと笑えるものや、ゆったりした気分になれるものが色々あります。「ハナゲ」は笑えます!

「リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ」  
こまつあやこ作

この不思議な呪文のような題名はマレー語で「五七五七七」の意味。主人公の沙弥はマレーシアからの帰国子女、図書委員の先輩の強引な誘いで短歌の世界に足を踏み入れ、周りの目を気にして縮こまっている自分に向き合っていくお話です。短歌もマレーシアも恋の悩みも!色々味わえる、読みやすいさわやかな小説です。



「人は何で生きるか トルストイの散歩道1」  
レフ・トルストイ 北御門次郎訳

靴屋のセミヨンが真冬の道端で裸の男を助けた。この男の正体は?ロシアの大文豪トルストイの作品ですが、難しくありません。トルストイが遺した、子どものための民話の一つです。人は生きていくのに本当に大切はものは何か、一生、愛と人生の真実について考え続けた、文豪の真摯で簡潔なメッセージをどうぞ!